

平成19年11月13日

各 位

会 社 名 株式会社ソフト99コーポレーション  
代 表 者 名 代表取締役社長 橋本 眞三  
(コード番号 4464 東証第二部)  
問 合 せ 先 常務取締役戦略本部長 土堤内 清嗣  
(TEL. 06-6942-8761)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年5月15日に公表した、平成20年3月期中間期（平成19年4月1日～平成19年9月30日）の連結業績予想と平成20年3月期通期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）の連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

### 記

#### 1. 平成20年3月期 中間期連結業績予想 数値の修正（平成19年4月1日～平成19年9月30日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成19年5月15日発表)	11,000	910	1,050	600
今回修正予想 (B)	10,657	666	837	370
増減額 (B-A)	△342	△243	△212	△229
増減率 (%)	△3.1	△26.8	△20.2	△38.3
(ご参考) 前期 (平成19年3月期中間期) 実績	10,902	931	1,067	559

#### 2. 中間期連結業績予想修正の理由

クルマ事業部門の製品売上は、市場の縮小傾向や価格競争の激化による単価下落を新製品等でカバーしきれず、また原油高の影響で原材料費等が値上がりしましたが、美装業者向けコーティング剤や、メガネケア商品、家庭用清掃用品及び海外向けが好調に推移しました。一方、サービス事業において教習所が苦戦を強いられ大幅な減益となった結果、クルマ事業部門全体では増収減益となりました。

また、暮らし事業部門において、スーパー銭湯を運営する温浴事業が、近隣の競合店の相次ぐ出店の影響と競合店対策として実施した改装による休業の影響で売上が減少し、固定費をまかなえず損失を計上したこと及び産業部門において昨年撤退した農業資材の売上を好調なブラシローラー等でカバーする計画が、ハードディスク業界における経営統合の影響による在庫調整で苦戦し、そのため工場の稼働率が低下したことにより大幅な減収減益となったこと、そして損失を計上した子会社において繰延税金資産を取り崩したことによる当期純利益の大幅な減少によるものです。

3. 平成20年3月期 通期連結業績予想 数値の修正 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成19年5月15日発表)	22,000	1,900	2,150	1,100
今回修正予想 (B)	21,000	1,400	1,650	750
増減額 (B-A)	△1,000	△500	△500	△350
増減率 (%)	△4.5	△26.3	△23.3	△31.8
(ご参考) 前期 (平成19年3月期) 実績	21,330	1,640	1,899	944

4. 通期連結業績予想修正の理由

中間期連結業績予想修正の理由で説明したとおり、当社グループ各事業の経営環境は厳しい状況が続くと予想されます。美装業者向けコーティング剤やメガネケア商品、家庭用清掃用品は計画を越える程の好調な推移をしておりますが、市場の縮小傾向や激しい価格競争が続く一般消費者向けカー用品の販売において、本年度に発売した新製品では、売上減少をカバーすることも難しく、原油価格高騰による原材料費の増加も影響し、当初計画との乖離は続く予想されます。

温浴事業においても、競合店との競争の激化は続き、業績の急速な回復は見込めないと予想されます。

産業部門においても、ハードディスク業界の再編による在庫調整は継続しており、今年度に出荷が急回復する見込みは立っておりません。

以上の要因により、通期の連結業績予想を修正いたします。

以上